

2020年度の各プロジェクト

① プロジェクト研究1

『交流及び共同学習の実践と評価に関する心理学的研究』

附属学校で行われている交流及び共同学習について、現状と課題の把握及び文献検討などを行い、これまでの各学校における実践に関わる評価を行う。

(附属学校教育局、附属小学校、附属中学校、附属視覚特別支援学校、附属桐が丘特別支援学校)

② プロジェクト研究2

『演劇的表現やパフォーマンスを通じた学習と学習環境の共創』

パフォーマンスアプローチを附属学校の児童・生徒並びに教職員の学習と発達に適用することで、パフォーマンス心理学の整備を図るとともに、パフォーマンス心理学に基づいた学習の新しい方法論を提案することを目的とする3つのミッション「①附属学校群の教育方法の革新」「②教員のマインドの改革」「③危機管理に関する新しい研修方法の開発」を遂行して、その成果発信を目指す。

(附属学校教育局、附属駒場中・高等学校、附属坂戸高等学校、附属視覚特別支援学校、附属聴覚特別支援学校、附属大塚特別支援学校、附属桐が丘特別支援学校、附属久里浜 特別支援学校、人間系、体育系、ほか学外関係者)

③ プロジェクト研究3

『中高生のインターネット依存の現状と支援に関する研究』

各附属学校においてインターネット依存(ゲーム障害)傾向にある生徒の実態を調査するとともに、インターネット依存に陥った際に、どのような指導や援助が適切であるか、家族がどのように関わったらよいかなどについて明らかにする。

④ プロジェクト研究4

『ICT を活用した授業実践の共有と公開～授業実践を持ち寄って、筑波の附属から普段使いのICT活用を発信しよう～』

各附属学校ではICTを活用した先進的な教育実践を行なっている。しかしながら、附属間でもお互いの実践を知る機会が少なく、成果の共有はあまり進んでいない。

各附属学校での様々な実践は、これまでの他のプロジェクト研究などをみても、その他の附属での先進的実践が特別支援教育での指導の参考になったり、特別支援附属での個に応じたICTを活用した教育実践がその他の附属での活用の参考になるなど、実践を共有することはとても意味のあることと考えられる。

そこで、本研究プロジェクトでは、互いの実践を共有するだけでなく、それぞれの専門性を生かして検討を加え、改善を進める。

そして、共有した授業実践もとにワークショップ等のイベントを行い、外部に発信するとともに、広く成果交流を図り、さらに実践を深めていくことを目指す。